

部会名 (開催日)	構成員等
健康増進部会 (令和3年2月3日)	真野和夫部会長 始め16名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、健康づくりリーダー連絡協議会、食生活改善推進員連絡協議会、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、県国民健康保険団体連合会、愛知労働局、県小中学校主任養護教諭会、県市町村保健師協議会、県保健所長会(順不同)
がん対策部会 (令和3年2月15日から3月1日まで書面開催)	高橋隆部会長 始め18名 学識経験者、がん関係の各分野の専門医、県医師会、県歯科医師会、県市長会、県町村長会、がん体験者、県小中学校長会、県がん診療連携協議会代表、同協議会看護部会代表、県中小企業団体中央会、NPO法人ミーネット、県保健所長会(順不同)
歯科口腔保健対策部会 (令和3年2月8日)	嶋崎義浩部会長 始め13名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県歯科衛生士会、県看護協会、県栄養士会、全国健康保険協会愛知支部、県医療療育総合センター中央病院、市町村歯科医師・歯科衛生士代表、小・中学校養護教諭代表、県保健所長会(順不同)

	健康増進部会
開催日	令和3年2月3日(水)
議題	<p>1 議題</p> <p>(1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について</p> <p>(2)循環器病対策推進計画について</p>
検討状況等	<p>1 議題</p> <p>(1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について</p> <p>今年度の主な取組について事務局から報告し、コロナ禍での各機関・団体での健康づくりにおける取組や県民の健康状態等についての意見交換を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民から、新型コロナウイルス感染症を恐れて、健診や受診を控えているという声を聞くことがある。年度当初に比べると、健診受診者数は、回復してきているが、健診会場等での感染対策の徹底と、必要な受診を控えないよう継続して啓発を行っていくことが必要である。 ○ テレワークの推進により、職場においては、コミュニケーション不足によるストレス、家庭で仕事をするもののストレス、通勤がなくなったことによる運動不足などの新たな課題がみられる。人との距離をとりながらも、コミュニケーションや運動を促す手段として、アプリなどによる健康づくりが役立つのではないかと。 ○ 外食を控え、自宅で食事をする人が増えており、食事摂取量等が変化しているといわれている。引き続き、食事の量やバランス等についての啓発に取り組む必要がある。 ○ 今年度は、ウェブを活用して、体操などの情報を発信し健康づくりを促したが、これまでのように対象者に合わせた細かな指導がしづらい。また、ウェブの活用に慣れていない年代へ、どのように情報を提供するか課題である。 <p>(2)循環器病対策推進計画について</p> <p>本県における循環器病の状況を報告、令和3年度には、愛知県循環器病対策推進計画を策定し、循環器病対策を計画的・総合的に推進していくことを説明した。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療技術の進歩等により循環器病の救命率は向上しているが、県民の状況をみると、健診結果等を有効活用できていない状況等も見られることから、引き続き、予防や重症化予防についての啓発が必要である。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍において、従来の啓発方法が実施しづらくなった面があるが、ウェブやアプリなどの活用など、工夫しながら啓発を行っていく必要がある。 ○ 新しい生活様式により、新たな健康課題も見られるが、県民の健康を守るためには、個々の状況に応じた多面的な情報提供が必要であるため、今後も関係機関の連携・協力による啓発を実施していく。

がん対策部会	
開催日	令和3年2月15日(月)から3月1日(月)まで(書面開催)
議題等	<p>1 議題 (1)「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和2年度の実施状況 (2)AYA世代のがん患者支援について</p> <p>2 報告事項 (1)愛知県がん登録情報利用等審議会の開催及び審議状況</p>
検討状況等	<p>1 議題 (1)「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和2年度の実施状況 令和2年度の主な取組を報告し、今後の方向性等について意見聴取した。 (主な意見) ○ コロナ禍で全国的にがん検診の手控えが目立っているのではないかと懸念している。安心して検診に行ける体制作りや広報を考えておく必要がある。 ○ がん教育について、会議を立ち上げて取り組んだ方が良い。また、がん体験者なども外部講師として活用した方が良い。 ○ がん検診の啓発ポスターの配付先にスポーツセンターやジムを加え、健康増進意欲の高い集団をターゲットにしてはどうか。</p> <p>(2) AYA世代のがん患者支援について AYA世代のがん患者に対し、がん治療の影響や妊よう性を温存するための方法について周知するためのリーフレットを作成し啓発に努めるとともに、令和3年度からがん患者妊よう性温存治療費助成事業を開始し、経済的な支援を実施していくことを説明した。 (主な意見) ○ 助成事業の患者への周知をいろいろなメディアを用いて行うこと。 ○ AYA世代の就労や精神的サポートも順次検討が必要。 ○ 外出を控えられたりしているため、これまで以上にネット等による、啓発・説明・相談活動を充実させていく必要がある。</p>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村や企業、関係機関等と連携し、街頭啓発やがん検診啓発ポスターの掲示等受診率向上キャンペーン等の普及啓発活動を引き続き実施していく。 ○ HPの内容を充実し、がん検診対象者やがん患者に有益な情報を随時更新し、知識の普及や受診勧奨を促進していく。 ○ がん検診の精度管理を行うため、市町村がん検診の実施結果やプロセス指標の改善のための取組状況等を専門家で構成するがん検診精度管理委員会で分析・検討し、市町村に技術的指導を行う。

歯科口腔保健対策部会	
開催日	令和3年2月8日(月)
議題	<p>1 議題 (1)「健康日本21あいち新計画」及び「愛知県歯科口腔保健基本計画」の進捗について (2)愛知県の歯科口腔保健対策の推進について、等</p> <p>2 報告事項 (1)大規模災害時における歯科口腔保健活動の体制整備に向けたワーキンググループの開催状況について (2)「う蝕多発児の子育て支援状況調査」の結果概要について (3)「歯科衛生士の就業支援に関するアンケート調査」について</p>
検討状況等	<p>議題(1)「健康日本21あいち新計画」及び「愛知県歯科口腔保健基本計画」の進捗状況及び主な取組を報告し、課題解決の方策、今後の方向性について協議を行った。 (主な意見) ○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、在宅歯科医療の拒否事例もあるが、このような状況下こそ口腔衛生状態の改善が感染予防につながるなどの周知が必要である。 ○ 学校歯科医が学校と連携して健康教育を支援できるよう、新任研修や更新研修の中で指導、研修をしていきたい。 ○ 在宅療養支援歯科診療所の届出数は減少したが、訪問歯科診療自体が減少している訳ではない。次期計画で指標の見直しとともに、医科や多職種と連携したい。</p> <p>議題(2) 歯科口腔保健対策の推進に向けた関係機関・団体による取組を共有した。 (主な意見) ○ 18歳から40歳までの歯科健診の空白期間が問題である。糖尿病と歯周病の関連に係る長期的な取組の導入を願う。 ○ 感染症の拡大、感染対策に関連し、歯科受診抑制の影響について検討が必要。 ○ 人生の最期まで住み慣れた家で暮らし、口から物を食べて、話をしたいと多くの人が願う。よりよい支援には、多職種チーム内のお互いの役割を知ることが大切。 ○ 次期計画で高齢者の口腔機能に関する新たな指標を入れることを提案したい。 ○ 本人のセルフケア、家族や介護によるホームケアに対し、歯科医療従事者と多職種が連携しながら家族と共有し合うことができる体制が望まれる。</p>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医科歯科連携による適切な口腔管理は非常に重要な取組であるため、関係者の連携により歯科医療と感染防止との両立を実現する。 ○ 歯周病は、生活習慣など様々な要因が複雑に影響する慢性疾患であるため、歯科だけのアプローチではなく、様々な関係者と一緒に多面から改善に向けて取り組む。 ○ 高齢者の口腔機能に関する指標は、把握が可能で改善が見込める指標を検討する。